

令和2年2月25日  
全印工連 第152号

経済産業大臣  
梶山弘志 殿

全日本印刷工業組合連合会  
会長 白田真人

### 新型コロナウイルスの感染拡大による今年度末における官公需対応のお願い

謹啓 平素は当連合会の運営につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、現在発生している新型コロナウイルス（指定感染症）の感染拡大の問題は、今や各産業界の枠を超えて日本の経済活動全体に深刻な影響を及ぼしております。

このような中、日本全国の地場産業を代表する中小印刷業界は、大きな顧客となっている官公需受注の一大繁忙期（年間割合の30%が集中）を迎えることとなります。

ご承知の通り、官公需における印刷物の発注・納品は年度末に集中し、それに対応するための人員確保、残業の増加など、現在においても解決すべき課題を多く抱えている状況にあります。当連合会では、これまでも「都道府県中小企業者調達推進協議会」ならびに中小企業庁事業環境部取引課に対しまして、年度末の集中発注を避けるため、発注の平準化、前倒し、年度に捉われない予算執行、複数年度にまたがる契約制度の実現、過度の校正や修正作業の見直しなどを要望してまいりました。

今回、この状況に加えての新型コロナウイルス感染拡大の影響は、用紙等原材料の調達から成果物の配送まで、印刷業務以外の影響も懸念され、これまでの官公需年度末集中の問題悪化にさらなる拍車がかかることは間違いありません。

つきましては、特に今年度末の官公需（印刷物の発注、納品）におきましては、翌年度への納期延長など、それぞれの事情に応じた柔軟なご対応につきまして、各段のご配慮を貴省をはじめ各関係省庁、全国各自治体へのご周知を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白